

福島第一原子力発電所4号機 使用済燃料プールからの燃料取り出しについて

平成26年11月27日

東京電力株式会社

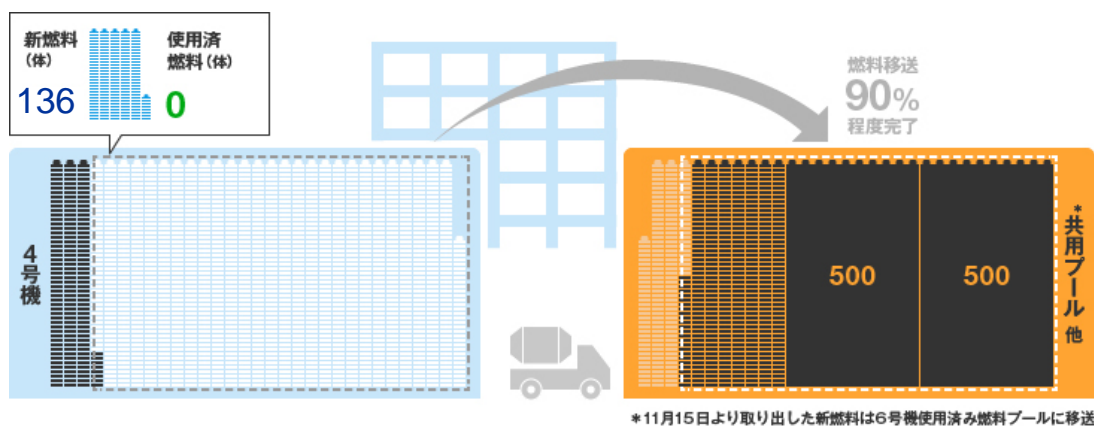


無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

1

進捗状況

○平成25年11月から、4号機使用済燃料プールからの燃料取り出し作業を実施中(約91%完了)



移送済燃料(体) **1397**/1533

使用済燃料の取り出しは平成26年11月5日に完了

移送燃料の種類(使用済:1331体/1331体、新燃料:66体/202体)

キャスクの輸送回数 64回

(平成26年11月26日現在)



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

2

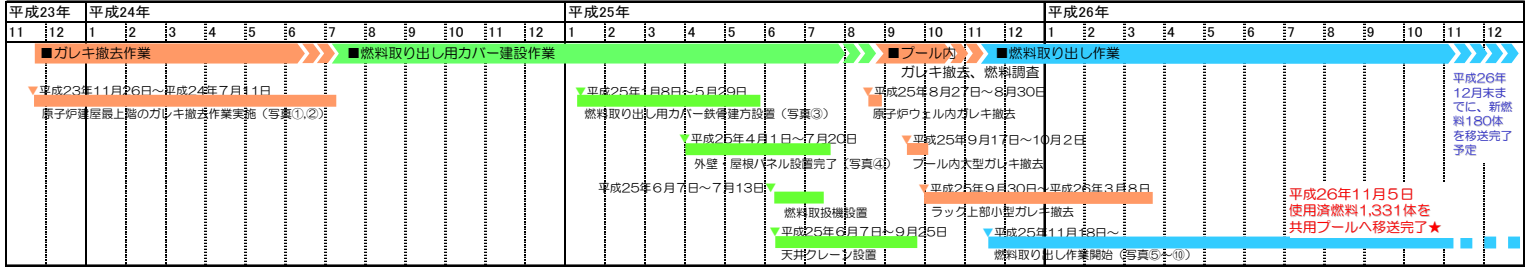
福島第一原子力発電所4号機 使用済燃料プールからの燃料取り出しについて

< 参考資料 >
平成26年11月6日
東京電力株式会社

～使用済燃料の移送が完了しました～

- ▶ 「東京電力(株)福島第一原子力発電所1～4号機の廃止措置等に向けた中長期ロードマップ」(以下、中長期ロードマップ)に基づき、4号機原子炉建屋最上階のガレキ撤去作業、燃料取り出し用カバーの建設作業を経て、平成25年11月18日より使用済燃料プールから別建屋にある共用プールへの燃料移送を安全を最優先に実施。
- ▶ 燃料取り出し作業開始から1年以内となる平成26年11月5日、プール内の使用済燃料1,331体の移送作業を完了した。これにより、大きくリスクの低減ができた。
- ▶ プール内に保管している残り180体の新燃料も、中長期ロードマップで目標としていた平成26年12月中に移送が完了する予定。
- ▶ 引き続き、福島第一廃炉推進カンパニーは、長期にわたる廃炉作業を、安全かつ着実に進めていく。

4号機使用済燃料プールからの燃料取り出しに関するこれまでの変遷



<燃料取り出し用カバー 概略仕様>

- 外壁パネルなど含む完成形の大きさ
約69m(南北)×約31m(東西)×約53m(地上高)
- 鉄骨躯体の大きさ
約62.5m(南北)×約28.5m(東西)×約48.9m(地上高)
- 重量
約4,000トン
〔鉄骨のみ(燃料取扱機(FHM)支持用架橋の重さは除く)〕
- 外装材
鋼板パネル〔鉄板と断熱材が一体化した建材〕

<燃料取り出し作業工程>

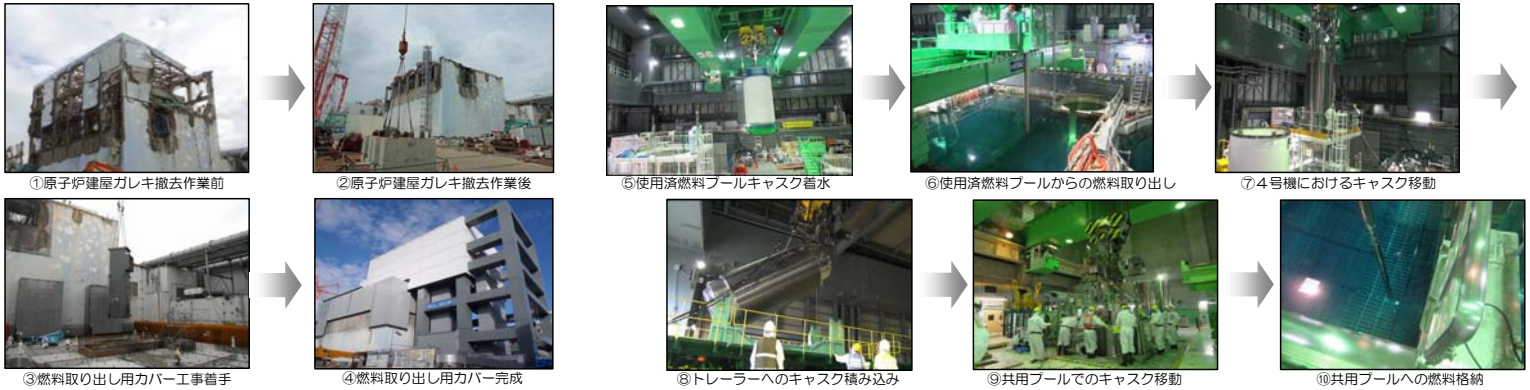


使用済燃料プール内燃料体数

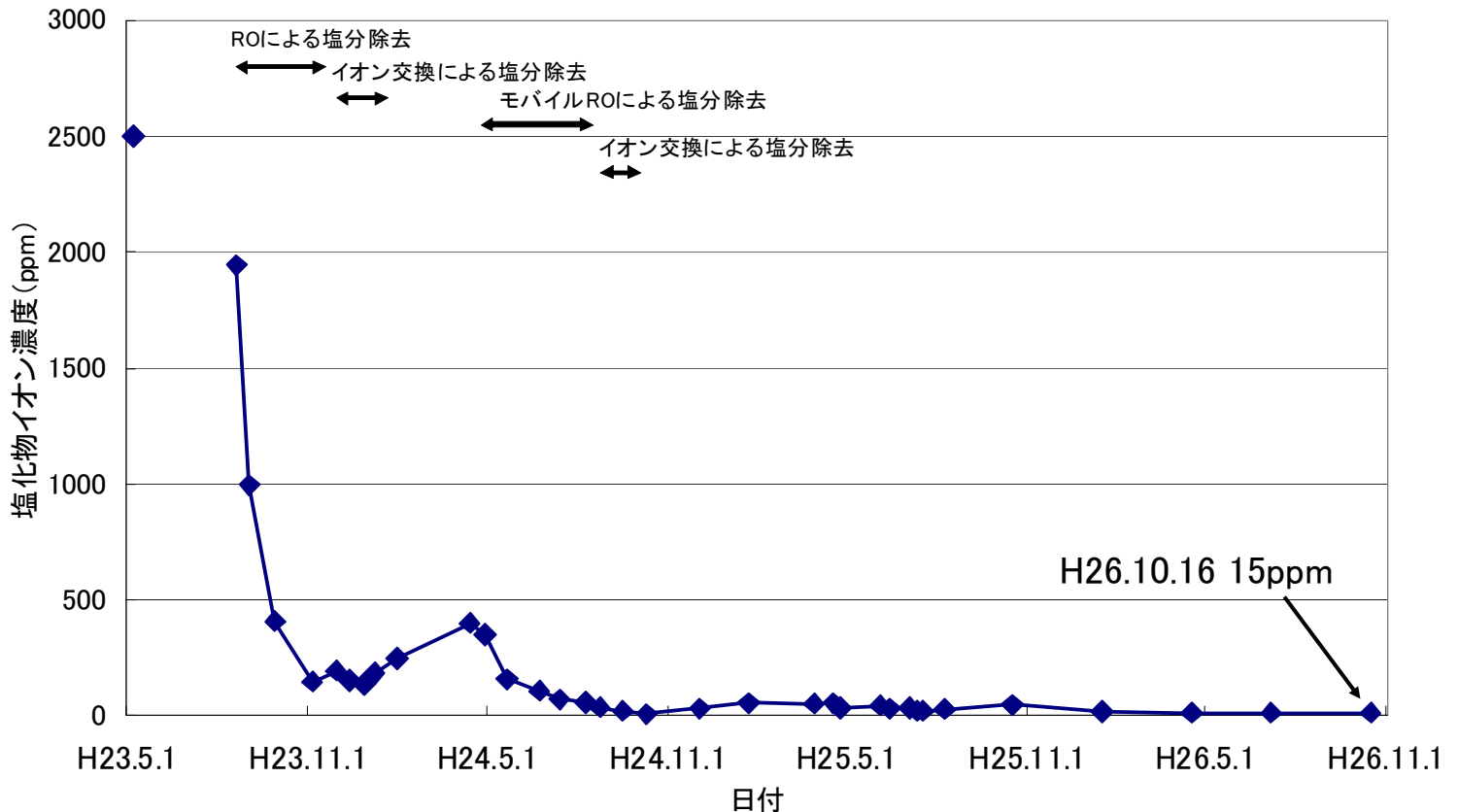
1,533体
(使用済 1,331体 / 新燃料 202体)

使用済燃料プール内燃料体数

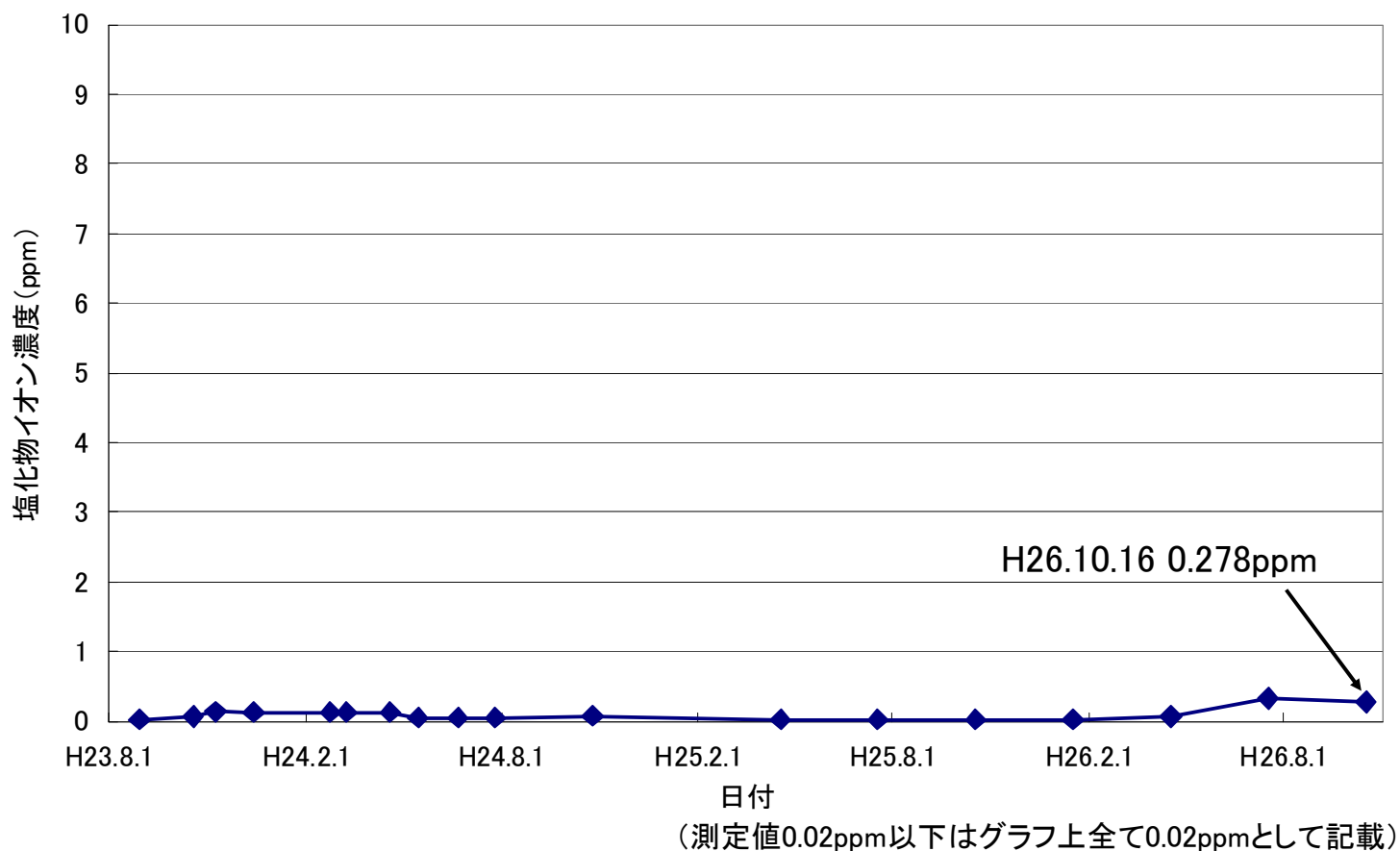
180体
(使用済 0体 / 新燃料 180体)



(参考)4号機使用済燃料プール塩化物イオン濃度の推移



(参考) 共用プール塩化物イオン濃度の推移



(測定値0.02ppm以下はグラフ上全て0.02ppmとして記載)